

教育研究データ		
1. 氏名	森下 要治	
2. 生年月	1966年7月	
3. 取得学位	文学修士	
4. 教育業績		
教育上の能力に関する事項	年月	概要
(1) 教育内容・方法の工夫	2010年4月～	<p>① 視覚教材を使用した言語特性理解のための授業実践</p> <p>広島文教女子大学人間科学部グローバルコミュニケーション学科専門教育科目「話しことば概論」において、「言語と意味」「言語の社会性」「言語の多元性」など、言語の特性を理解させることを目的として、日本の絵画やルネッサンス以降の西洋絵画をベースに作成したワークシートによる授業を行って、学生間の自発的な討議を誘引し、言語特性を体験的に理解することが可能となっている。</p>
	2011年10月～	<p>② 独自テキストを使用した日本文学研究への導入のための授業実践</p> <p>広島文教女子大学人間科学部初等教育学科専門教育科目「日本文学演習」において、中学校国語教科書を中心とする中等教育現場で取り上げられることの多い文学教材の教材研究に資する目的で、これら複数ジャンルの文学作品の中から教材化頻度の高い箇所を抽出し、その分析のための手引を付した独自テキストを作成し、授業の基本資料とした。いわゆる古典文学作品から近現代の小説・詩歌に至るまで典型教材と思しきものを取り立てて15講にまとめたもので、調査・分析・考察・報告とそれに基づく討議を中心として、学生の実態に合わせた授業展開が可能となっている。</p>
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		

5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①広島大学蔵古代中世文学貴重資料集 翻刻と目録	共著	2004年 10月	笠間書院
②			
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
① 『胡琴教録』の藤原兼実関連談話について・基礎稿	単著	2010年 2月	『文教国文学』第54号, 10-20
② 宝治元年『院御歌合』注釈―「社頭祝」題―	共著	2010年 3月	『尾道大学芸術文化学部(日本文学科)紀要』第9号, 73-91
③ 宝治元年『院御歌合』注釈―「蓮性陳状」―	共著	2011年 3月	『尾道大学芸術文化学部(日本文学科)紀要』第10号, 15-39
④ 院政期貴族社会の音楽と文学―源有仁の音楽活動をめぐって―	単著	2013年 12月	『尾道市立大学日本文学論叢』第9号, 131-149
⑤『篁山竹林寺縁起』における篁説話の位相・続考―小野篁の造型をめぐって―	単著	2016年 2月	『文教国文学』第60号
(3) 研究・作品発表		発表の年月	発表学会等
① 源有仁の音楽活動とその周辺―花園左大臣家における文化的活動の解明に向けて―		2011年10月	2011年度広島文教女子大学国文学会研究集会
② 院政期貴族社会の音楽と文学―ある貴人の音楽活動をめぐって―		2012年12月	第4回おのみち文学三昧・特別講演(尾道市立大学日本文学会/尾道市立大学日本文学科 主催)
③ 文学研究と教育との間―日本中世文学の言説からの考察―		2014年5月	広島文教女子大学教育学会定期総会
④『熱田裁断橋銘文』私注―中世末期における〈親の愛〉表出の様式一斑―		2017年10月	平成29年度広島文教女子大学国文学会研究集会
(4) 所属学会			
①中世文学会			

②広島大学国語国文学会